

令和5年度

年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	現代文B	2 単位
対象	3 学年	
教科書	「高等学校改訂版現代文B」 (第一学習社)	
補助教材等	いいつな書店『私大対策評論アドバンス』『大学入試国語頻出問題1200』、尚文出版『共通テスト対策現代文完答22改訂版』、教研出版『評論速読トレーニング2000』	

担当者	
-----	--

目標	大学入試に対応する読解力を高めるため、本格的な評論読解に取り組み、要約の練習をする。近代文学の名作を味わい、人生や世界の見方や感じ方・考え方を豊かにする。
----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	評論 (五)	「『である』ことと『する』こと」 (丸山真男)	「である」と「する」という二つの図式に着目させて筆者の明晰な論理を理解させる。
	5		中間考査		
	6		評論 (五)	「『である』ことと『する』こと」 (丸山真男)	「である」と「する」という二つの図式に着目させて筆者の明晰な論理を理解させる。
	6		小説 (三)	「枯野抄」 (芥川龍之介)	人間の心理について考えを深めさせる。本文中の俳句が持つ効果を味わわせ、松尾芭蕉の作品と生涯を理解させる。
	7		期末考査 問題演習	読解力の養成	
2 学 期	9	13	評論 (二)	「コスモポリタニズムの可能性」 (河野哲也)	哲学的評論を読み、キーワードとなる抽象的な概念について、例示を参考にしながら理解させ、全体的な論理構成を押さえさせる。
	10		問題演習	読解力の養成	
			中間考査		
	11		評論 (三)	「現代日本の開化」 (夏目漱石)	講演当時の歴史的背景を踏まえ、「日本の開化」の特徴を理解させ、近代化の功罪について考えを深めさせる。
	12		問題演習	読解力の養成	本番を意識して演習させる。
3 学 期	1	13			
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 定期考査、課題テスト、毎週の小テスト、課題の提出状況、日常の授業態度などを考慮して総合的に評価する。
----	--

令和5年度 古典B 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	古典B (古典α)	4 単位
対象	3 学年 必修選択者	
教科書	『高等学校 改訂版 古典B』 (第一学習社)	
補助教材等	『新版五訂 完全マスター古典文法』(第一学習社)、『漢文必携四訂版(桐原書店)』、 『四訂版 力をつける古文ステップ4(数研出版)』、『古典文法集中トレーニング入試 別編(いいずな書店)』、『大学入試国語頻出問題1200四訂版(いいずな書店)』、『漢文 ウィニングクリア3(尚文出版)』、『改訂版古典連読トレーニング基礎(数研出版)』	

担当者	
-----	--

目標	古典の豊かな言語感覚・想像力・創造力を読み味わうことによって、ものの見方や考え方を豊かにし、人間存在への認識を深く持つ。また、大学入試を見据え、多種多様な古典作品を精読する。
----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点(具体的な指導目標)
1 学 期	4	52	『源氏物語』「紅葉賀」、「薄雲」、入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的文法事項の確認と定着。 ・古典常識と場面別読解法の確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文、漢文共に応用題に対応できる実戦力を養う。 ・確実に予習を習慣づけるようにさせる。
	5		中間考査		
	6		『源氏物語』「若菜(上)」、「御法」、入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・詠歌及び作詩の常識と出題パターンの確認。 ・文学史とジャンル別読解法の確認。 	
	7		期末考査 入試対策演習		
2 学 期	9	52	『源氏物語』「橋姫」、入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・問題演習を繰り返すことで、初見の文章を読解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古文、漢文共に応用題に対応できる実戦力を養う。 ・共通テストの形式に慣れ、読解のスピードを上げる。
	10		中間考査		
	11		入試対策演習(共通テスト中心)	<ul style="list-style-type: none"> ・入試の過去問題演習を通して、読解力や記述力を育成する。 	
	12		期末考査 入試対策演習		
3 学 期	1	26	入試対策演習		
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 定期考査の結果、および小テスト・古文単語テストなどの得点、課題や提出物などをもとに評価する。また、授業への参加意欲、態度、および古典に対する関心などを加味することで、総合的に評価する。
----	--

令和5年度 古典B 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	古典B (古典β)	4 単位
対象	3 学年 必修選択者	
教科書	『高等学校 改訂版 古典B』 (第一学習社)	
補助教材等	『新版五訂 完全マスター古典文法』(第一学習社)、『漢文必携四訂版(桐原書店)』、 『大学入試国語頻出問題1200四訂版(いっずな書店)』、『改訂版古典速読トレーニング基礎(数研出版)』、『新国語問題集アシスト第22集(京都書房)』、『三訂版共通テスト対策古典完答22(尚文出版)』、『新版古典文法習得のためのまぎらわしい語の識別(数研出版)』	

担当者	
-----	--

目標	古典の豊かな言語感覚・想像力・創造力を読み味わうことによって、ものの見方や考え方を豊かにし、人間存在への認識を深く持つ。また、大学入試を見据え、多種多様な古典作品を精読する。
----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	52	『枕草子』「野分のまたの日こそ」「宮に初めて参りたるころ」	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的文法事項の確認と定着。 ・ 古典常識と漢文読解法の確認。 ・ 古文を読解するための手順を確認する。 ・ 初見の漢文問題に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古文、漢文共に読解のための基礎力を身に着ける。 ・ 文学史、古典常識を身に着けることで、読解の深化を計る。
	5		中間考査		
	6		『源氏物語』「紫の上の死」、『無名草子』「清少納言と紫の上」、漢文		
	7		期末考査		
2 学 期	9	52	、入試対策演習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題演習を繰り返すことで、初見の文章を読解できるようにする。 ・ 入試の過去問題演習を通して、読解力や記述力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古文、漢文共に応用題に対応できる実戦力を養う。 ・ 共通テストの形式に慣れ、読解のスピードを上げる。
	10		中間考査		
	11		入試対策演習(共通テスト中心)		
	12		期末考査 入試対策演習		
3 学 期	1	26	入試対策演習		
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 定期考査の結果、および小テスト・古文単語テストなどの得点、課題や提出物などをもとに評価する。また、授業への参加意欲、態度、および古典に対する関心などを加味することで、総合的に評価する。
----	--

令和5年度 国語科年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	国語総合 (現代文演習)	2 単位
対象	3学年 必修選択者	
教科書	「高等学校改訂版新訂国語総合現代文編」 (第一学習社)	
補助教材等	「入試につながる現代文」(進研ラーズ) 「過程の演習新国語問題集アシスト第22集現代文編」(京都書房)	

担当者	
-----	--

目標	問題演習を積み重ねることで、特に現代文入試の8割以上を占める「評論文」の読解力と記述力を身につける。さらにマーク式問題についても演習を通じて、限られた時間内で正解にたどり着くための、スピードを伴った読解力を養う。
----	--

学期	月	時数	単元	指導内容	留意点(具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	「入試につながる現代文」 「新国語問題集アシスト第22集」	1 自己の境界 2 自己・他者と自由 3 関係性から生まれる自己 4 今ここに立つ現実 5 デザイナーの始原 6 象徴とパラドックス 7 写真の秘密 8 作家の思い	①科学技術を使い、物質的な豊かさを追い求めるあまり、利潤や機能性を過剰なまでに追求する傾向が現代人に現れており、環境問題は深刻な問題となっている。読解力のみならず、社会的関心を養いながら読み進める。 ②現代を生きる私たちにとって、今を考えるには、近代を整理することが不可欠である。キリスト教と近代科学の関係、芸術についての思想の変遷などを考察しながら、近代がもたらした負の部分を見直し、現代を理解する。 ③国際化が進む現在、私たちは自国のアイデンティティを確立した上で、自らの立場から世界に向けて発言し、新しい世界を築くために貢献することが求められている。そのために、自国の文化をさまざまな側面から理解することが必要である。日本人論、異文化との交流、グローバル化、近代西欧文化の相対化というテーマを扱いながら、現代の国際社会における世界と日本の関係のあり方を深く理解する。 ④マーク式問題に対応した問題演習を積み重ね、文章構造を把握して読解速度を上げ、正解を見つけられるようにする。
	5			1 ほんもの・にせもの展 2 ともに悲嘆を生きる 3 黒雲の下で卵をあたためる 4 道草 5 新復興論 6 科学者という仕事 7 春は馬車に乗って 8 観光社会学2・0	
	6			9 社会の変化と若者 10 環境問題と自由主義 11 コンピュータの限界 12 ステレオタイプの虚構 13 自然科学と神 14 個性としての作家の出現 15 新たなまなざし 16 夫の礼服 17 日本人の現在主義 18 音楽の「普遍性」 19 近代西欧の相対化 20 ヤコブと僕 21 権力とは何か 22 歴史記述とは何か 23 プロフェッショナルの仕事	
2 学 期	9	26	「入試につながる現代文」 「新国語問題集アシスト第22集」	9 愛読の方法 10 「差別はいけない」とみんないうけれど。 11 阿部一族 12 天然知能 13 藤の衣に麻の衾 14 演奏行為論 15 身体と空間 16 社会学 わたしと世間 17 ことり 18 三毛猫あわれ—出郷と断念 19 脱人間の人文学 20 自由という牢獄 責任・公共性・資本主義	⑤現代社会は複雑化、高度化し、さまざまな形で生まれてくる課題に対して、既成の学問だけでは解答が導き出せない場合もある。問題解決には科学を越えた次元(トランスサイエンス)での議論が必要であり、視点を変えてみることを、他との連携を図るということ、が必要だということ、を、評論文読解を通じて考察する。 ⑥人間はお互い関わることなくしに生きられず、他者との関係においてこそ自己の存在を見出しうる。身近な例に置き換えていくことで、文章の理解を深める。 ⑦私たちは個々の内面にある混沌としたものを、自分の外部、他者に向かって表現しようとする。「芸術」とは自己を表現しつつ、美的価値を創造するものといえる。言語のように社会を構成する人々が共有・継承し、発展させてきた生活様式を「文化」と呼ぶ。芸術や文化に関する評論を読み、見識や考察を深める。
	10			9 愛読の方法 10 「差別はいけない」とみんないうけれど。 11 阿部一族 12 天然知能 13 藤の衣に麻の衾 14 演奏行為論 15 身体と空間 16 社会学 わたしと世間 17 ことり 18 三毛猫あわれ—出郷と断念 19 脱人間の人文学 20 自由という牢獄 責任・公共性・資本主義	
	11			9 愛読の方法 10 「差別はいけない」とみんないうけれど。 11 阿部一族 12 天然知能 13 藤の衣に麻の衾 14 演奏行為論 15 身体と空間 16 社会学 わたしと世間 17 ことり 18 三毛猫あわれ—出郷と断念 19 脱人間の人文学 20 自由という牢獄 責任・公共性・資本主義	
3 学 期	1	18	大学入試問題演習		
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 定期考査、小テスト、課題や提出物など総合的に評価する。
----	---

令和5年度 公民科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	政治・経済	2 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	政治・経済 (東京書籍)	
補助教材等	新版最新政治・経済資料集2021 (第一学習社)	

担 当 者	座間 隆
-------------	------

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 政治の基礎的知識及び原理を理解させる。 共通テストに対応できる学力と、私大の一般試験に対する応用力を身につけさせる。
-----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	現代の政治	基本的人権	人権分野を中心にセンター試験の出題傾向を把握する。
	5		現代の政治	国家と立法	国会とその役割について民主主義との関連で課題を理解させる。
	6		現代の政治	内閣と行政、裁判所と司法、地方自治	行政の役割を中心に、政治・経済の問題について考え方を身につける。
	7		現代の政治	選挙と政治意識	現代の日本政治と関連させながら、選挙制度をめぐる問題点について理解させる。
2 学 期	9	26	現代の経済	戦後経済の発展と日本経済	戦後日本経済の発展と関連させながら、経済の仕組みを理解させる。
	10		現代の経済	生産のしくみと企業	株式会社のしくみ、国民所得の諸概念と経済成長の本質を理解させる。
	11		現代の経済	公害と環境保全	公害、環境問題、消費者問題について理解させる。
	12		現代の経済	中小企業の現状と課題	大企業との比較を通して、中小企業の活動や課題について理解する。
3 学 期	1	18	大学入試過去問演習		
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等)
	<ul style="list-style-type: none"> 興味、関心 基礎的内容の理解 資料の活用 意見の表明

令和5年度 公民科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	倫理	2 単位
対 象	3 学年 自由選択者	
教 科 書	高等学校・倫理（第一学習社）	
補助教材等	ベストセレクション大学入試共通テスト倫理重要問題集 2023	

担 当 者	
-------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理の基礎的知識及び、哲学者の思想を理解させる。 ・共通テストに対応できる学力を身につけさせる。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点（具体的な指導目標）
1 学 期	4	26	青年期の課題と自己形成	青年期の特徴	現代社会における青年期の位置づけと意義を理解させる。
	5		人間としての自覚	ギリシアの思想	ギリシアの思想家のものの見方・考え方を理解させ、古代ギリシアの思想は、私たちにとってどのような意味を持つのかを考えさせる。
	6			キリスト教、イスラーム、仏教	哲学や宗教の意義を考え、先人の生き方を手がかりに、どのように生きていくべきかを考えさせる。
	7			中国の思想	中国の思想は歴史的に日本に最も大きな影響を与えたものであることを知り、私たちの現在や未来にどのように関わっているのかを考察させる。
2 学 期	9	26	現代に生きる人間の倫理	人間の尊厳、近代の科学革命と	人間の尊厳に関わる思想家の思索を通して、西洋の近代人は、人間の尊厳をどこに見いだしていたのかを考えさせる。
	10			自由で平等な社会の実現、人間	西洋近代の思想家たちは、自由の実現についてどのように考えたのか、多面的・多角的に考察させる。
	11			現代の思想と人間像	前節までの学習を踏まえ現代の思想はそれまでの思想からどのような影響を受けそれらをどのように乗り越えようとしているのかを考察させる。
	12			国際社会における日本人としての自覚	外来思想の受容
3 学 期	1	18	国際社会における日本人と	町人意識のめざめと庶民思想	国学成立の背景と思想家、庶民出身の思想家の活躍を理解させる。
	2			西洋思想の受容と近現代の思想	受容した西洋思想が、それぞれの時期に、日本の思想や社会にどのような影響を及ぼしたのかを考察させる。
	3			現代の諸課題と倫理	家族・地域社会、情報社会、

評 価	(観点・方法等) ・興味、関心 ・基礎的内容の理解 ・資料の活用 ・意見の表明
-----	---

令和5年度 地理歴史科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	世界史B	6 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	改訂版 詳説世界史B (山川出版社)	
補助教材等	アカデミア世界史 (浜島書店)	

担 当 者	
-------------	--

目 標	世界の歴史についての体系的な知識を身につけ、複雑な国際社会を理解する一助とする。国際社会で生きる力と、受験での得点を取るための幅広い知識の定着を目指す。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	78	<ul style="list-style-type: none"> 先史の世界 オリエントと地中海世界 アジア・アメリカの古代文明 内陸アジア世界・東アジア世界の形成 イスラーム世界の形成と発展 ヨーロッパ世界の形成と発展 内陸アジア世界・東アジア世界の展開 アジア諸地域の繁栄 	<ul style="list-style-type: none"> 古代オリエント、ギリシア、ローマ世界 インド、東南アジア、中国、南北アメリカの古典文明 草原の遊牧民とオアシスの定住民、北方民族の活動と中国の分裂、東アジア文化圏の形成 イスラーム世界の形成 ヨーロッパ世界の成立と変容 トルコ化とイスラーム化の進展、モンゴルの大帝国 東アジア世界の動向 トルコ・イラン世界の展開、ムガル帝国の興隆 	<ul style="list-style-type: none"> 西アジアと地中海世界の歴史的特質を把握し理解する。 アジアの地理的特質を把握し、諸地域の国家形成の過程を理解する。 イスラーム世界の形成と発展、拡大について理解する。 ゲルマン人移動後、封建社会が形成される過程を理解する。 ヨーロッパ中世世界の变容と諸国の動向について理解する。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	78	<ul style="list-style-type: none"> 近世ヨーロッパ世界の形成と展開 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 欧米における近代国民国家の発展 アジア諸地域の動揺 帝国主義とアジアの民族運動 二つの世界大戦 冷戦と第三世界の独立 現在の世界 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界の拡大、ルネサンス、宗教改革 重商主義と啓蒙専制主義 産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命とナポレオン ウィーン体制とヨーロッパ世界の再編 帝国主義と世界分割 第一次、第二次世界大戦 戦後世界秩序の形成とアジア諸地域の独立、米ソ冷戦 社会主義世界の变容とグローバル化、現代文明の諸相 	<ul style="list-style-type: none"> ヨーロッパ世界の拡大とアメリカ大陸の征服、ヨーロッパ社会の変化について理解する。 ヨーロッパ主権国家諸国の動向、植民地争奪戦の国際的枠組みを理解する。 産業革命、アメリカ独立革命、フランス革命が近代民主政治に与えた影響を理解する。 帝国主義下の社会の変化を理解する。 二つの戦争が現代世界に与えた影響について理解する。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	54	○入試対策	共通テスト対策 大学入試問題演習	問題の傾向をつかみ、時間内に解くことができるようにする。
	2				
	3				

評 価	<p>(観点・方法等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎・基本事項が確実に理解できたか、さらに発展した問題までを考えられているかを評価の観点のひとつとする。 定期考査の結果で判断するが、小テスト・レポート等から総合的に評価する。
-----	---

令和5年度 公民科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	政治・経済	2 単位
対象	3 学年	
教科書	政治・経済（東京書籍）	
補助教材等	政治・経済研究ノート（東京書籍） 政治・経済資料集2023（第一学習社）	

担当者	
-----	--

目標	政治および経済の基礎的知識及び原理を理解させる。
----	--------------------------

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点（具体的な指導目標）
1 学 期	4	26	現代経済のしくみ	①経済主体と経済の循環	経済主体間の連結や経済活動の循環を理解させる。 企業活動と株式会社について理解させる。 市場の働きと失敗について理解させる。 国民経済をマクロ的にとらえることの意義を理解させる。 金融のしくみと銀行の役割を理解させる。 租税の意義や財政の基本的な役割を理解させる。 日本経済復興期の諸改革や高度経済成長を考察させる。 日本経済の変容と産業構造の変化について理解させる。 「構造改革」の特徴と影響について考察させる。 資本主義経済の歴史的経緯と特徴について理解させる。 資本主義経済の変容と社会主義経済の理論を理解させる。
	5			②生産のしくみと企業	
	6		日本経済の発展と産業構造の	③市場経済の機能と限界	
	7		現代の資本主義経済	④国民所得と経済成長 ⑤金融のしくみと機能 ⑥財政のしくみと機能 ①経済再建から高度成長へ ②オイル・ショック後の日本経済 ③日本経済の現状 ①資本主義体制の成立 ②資本主義経済の発展と変容	
2 学 期	9	26	民主政治の基本原則	①民主政治の成立	民主政治の成立を支えた出来事について理解させる。 人権保障の歴史的変化を考察させる。 民主政治の脆弱性と今日的な課題について考えさせる。 政治権力の行使と国民との関係について考察させる。 大日本帝国憲法と比較しながら考察させる。 判例に則しながら、その特徴と課題について理解させる。 米軍基地の問題や自衛隊の現状などについて考察させる。 日本の国会の権限と課題について考察させる。 内閣の機能や内閣総理大臣の権限を理解させる。 戦前と現行憲法下の共通点と異なる点を考察させる。 地方自治の意義とあり方について理解させる。 政党や利益集団の意義と役割について考察させる。
	10		日本国憲法の基本原則	②基本的人権の確立	
	11		日本の政治機構	③現代の民主政治 ④世界のおもな政治体制	
	12		現代政治の特質と課題	①日本国憲法の制定と基本原則 ②基本的人権の保障 ③平和主義 ①国会と立法 ②内閣と行政 ③裁判所と司法 ④地方自治	
3 学 期	1	18	現代の国際政治	②選挙と政治意識	民主政治における選挙の意義を理解させる。 世論の役割とマスメディアのあり方について考えさせる。 主権国家と国際社会の関係について理解させる。 国際社会の秩序維持と国際法の役割を理解させる。 勢力均衡や集団安全保障のしくみについて理解させる。 第二次世界大戦後の冷戦構造の変遷について理解させる。 戦後の軍拡・軍縮の流れと21世紀の諸問題を考察させる。 現状を理解し、環境保護の取組について考察させる。
	2			③世論と政治参加	
	3			①国際政治の特質 ②国際社会と国際法 ③国際連合の役割と課題 ④戦後国際関係の展開と日本 ⑤国際政治の課題 ⑥地球環境と資源・エネルギー問題	

評価	(観点・方法等) ・興味、関心 ・基礎的内容の理解 ・資料の活用 ・意見の表明
----	---

令和5年度 地理歴史科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

	地理 B	2 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	新編詳解地理 B (二宮書店) 新高等地図 (東京書籍)	
補助教材等	新編地理資料 (とうほう) ウイニングコンパス地理の整理と演習 (とうほう)	

担 当 者	
-------------	--

目 標	世界各地の地誌を概観することによって、地球規模でみられる地理的事象を動的・生態的にとらえ、各地域の地理的特性や問題点を生徒が理解すること。3年生の選択授業であり、大学入学共通テストへの対策および国公立二次・私大対策となる内容も含めて、国際理解のための教養と地理学習への動機付けとすること。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	現代世界の地誌	①東アジアの地誌 ②東南アジアの地誌 ③南アジアの地誌 ④西アジアの地誌 ⑤アフリカの地誌 ⑥ヨーロッパの地誌 ⑦北米の地誌 ⑧南米の地誌 ⑨オセアニアの地誌 ⑩極地方、比較地誌	1 年次の学習からの継続性を考慮しながら、世界各地の地誌を学ぶ。現代の地理的な事象を自然環境、歴史的、空間的なつながりから多面的に把握し比較することによって、人々の生活や文化、産業が形成されていることを認識する。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	26	現代世界の系統地理・諸課題	①自然環境・地形 ②自然環境・気候 ③世界の農林水産業 ④世界の鉱工業、資源 ⑤商業、消費、観光 ⑥交通、通信、貿易 ⑦人口、人口問題 ⑧村落、都市、都市問題 ⑨生活文化、民族、宗教 ⑩国家、領域、国家群 ⑪地形図の読図	自然環境や産業、人口、村落や都市、生活文化、地球規模の諸課題など系統的に捉えることで、グローバルな見方・考え方を学ぶ。各種統計や地図など資料の読み取りや解釈など地理的技能をレベルアップし、共通テストや国公立二次・私大対策などを意識した問題演習から基礎学力を固める。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	18	問題演習	共通テスト対策や国公立二次・私大向けの問題演習など個別学習を行う。	生徒個々の志望大学に合わせて、過去問を中心に実践力を高める。
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) ・基礎的な知識、地理的技能の習得など地理的考察力を身に付けているか、さらに発展的問に対して理論的に考察しているかを評価の観点のひとつとする。 ・毎回実施する小テストの結果や授業中の取り組み状況、提出物、発表等を総合的に判断し評価を行う。
-----	---

令和4年度 地理歴史科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	地理 B	2 単位
対 象	3 学年 自由選択者	
教 科 書	新編詳解地理 B (二宮書店) 新高等地図 (東京書籍)	
補助教材等	最新地理図表 G E O (第一学習社) 入試に出る地理 B 一問一答 (Z 会) チェック & 演習地理 (数研出版)	

担 当 者	
-------------	--

目 標	世界各地の地誌を概観することによって、地球規模でみられる地理的事象を動的・生態的にとらえ、各地域の地理的特性や問題点を生徒が理解すること。3年生の選択授業であり、大学入学共通テストへの対策および国公立二次・私大対策となる内容も含めて、国際理解のための教養と地理学習への動機付けとすること。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	現代世界の地誌	①東アジアの地誌 ②東南アジアの地誌 ③南アジアの地誌 ④西アジアの地誌 ⑤アフリカの地誌 ⑥ヨーロッパの地誌 ⑦北米の地誌 ⑧南米の地誌 ⑨オセアニアの地誌 ⑩極地方、比較地誌	1 年次の学習からの継続性を考慮しながら、世界各地の地誌を学ぶ。現代の地理的な事象を自然環境、歴史的、空間的なつながりから多面的に把握し比較することによって、人々の生活や文化、産業が形成されていることを認識する。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	26	現代世界の系統地理・諸課題	①自然環境・地形 ②自然環境・気候 ③世界の農林水産業 ④世界の鉱工業、資源 ⑤商業、消費、観光 ⑥交通、通信、貿易 ⑦人口、人口問題 ⑧村落、都市、都市問題 ⑨生活文化、民族、宗教 ⑩国家、領域、国家群 ⑪地形図の読図	自然環境や産業、人口、村落や都市、生活文化、地球規模の諸課題など系統的に捉えることで、グローバルな見方・考え方を学ぶ。各種統計や地図など資料の読み取りや解釈など地理的技能をレベルアップし、共通テストや国公立二次・私大対策などを意識した問題演習から基礎学力を固める。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	18	問題演習	共通テスト対策や国公立二次・私大向けの問題演習など個別学習を行う。	生徒個々の志望大学に合わせて、過去問を中心に実践力を高める。
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) ・基礎的な知識、地理的技能の習得など地理的考察力を身に付けているか、さらに発展的問に対して理論的に考察しているかを評価の観点のひとつとする。 ・毎回実施する小テストの結果や授業中の取り組み状況、提出物、発表等を総合的に判断し評価を行う。
-----	---

令和5年度 地理歴史科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	日本史 B	6 単 位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	詳説日本史 B (山川出版社)	
補助教材等	新詳日本史 (浜島書店) ゼミナール日本史 (浜島書店)	

担 当 者	
-------	--

目 標	<p>○日本史についての体系的な知識を身につけることを通して、平和的な社会の形成者として必要な社会や歴史に対する判断力を養う。</p> <p>○共通テスト・国立二次・私大一般の入試問題に幅広く対応できる学力を身につける。</p>
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	78	○原始/古代の日本と東アジア ○中世の日本と東アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器～古墳時代 ・推古朝の政治 ・中央集権国家形成の道 ・律令制度 ・摂関政治の展開 ・荘園公領制と武士の台頭 ・国風文化 ・院政と平氏政権 ・鎌倉幕府の成立 ・執権政治の展開 ・蒙古襲来と幕府の衰退 ・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 	<ul style="list-style-type: none"> ・原始社会の特色及び古代国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ・中世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	78	○近世の日本と世界 ○両世界大戦期の日本と世界	<ul style="list-style-type: none"> ・戦国大名の登場 ・織豊政権と桃山文化 ・幕藩成立の展開 ・幕藩社会の構造 ・幕政の安定 ・経済の発展 ・元禄文化 ・幕政の改革 ・宝暦・天明期の文化 ・幕府の衰退と近代への道 ・化政文化 ・市民生活の変容と大衆文化 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦 	<ul style="list-style-type: none"> ・近世国家と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。 ・近代国家の形成と社会や文化の特色について、国際環境と関連付けて考察させる。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	54	○入試対策	<ul style="list-style-type: none"> ・大学入試問題の中から一定レベルの問題を使用し、設問別・形式別対策 (正誤問題・初見史料・図版等) を講じる。 	
	2				
	3				

評 価	<p>(観点・方法等)</p> <p>年間4回の定期考査を中心とし、小テスト・提出物・レポート等から総合的に評価する。</p>
-----	---

令和5年度 数学科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	数学Ⅱ (数学ⅠAⅡB演習)	2 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・数学B (1、2年次使用)	
補助教材等	「リンク数学演習ⅠA+ⅡB」数研出版	

担 当 者	
-------------	--

目 標	講義と演習を通して様々な問題に触れながら、論理立てて考えられる力を身に付けさせる。また、共通テストや個別試験に対応できるだけの応用力を養う。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	数学Ⅰ	数と式 2次関数 図形と計量	数学ⅠⅡAB全般について教科書レベルの問題を春の宿題にする。左記の内容について、基礎問題、標準問題について、1、2年生の授業では取り扱ったことがないような問題も含め、問題を精選して授業で取り扱う。
	5		数学A	データの分析 場合の数と確率	
	6		数学Ⅱ	図形の性質 整数の性質	
	7			式と証明 複素数と方程式 図形と方程式	
2 学 期	9	26	数学Ⅱ	三角関数	標準的な入試問題のうち、1、2年生の授業では取り扱ったことがないような問題を精選して授業で取り扱う。
	10		数学B	指数関数と対数関数 微分法と積分法	
	11		総合演習	ベクトル 数列	
	12			共通テスト演習 個別試験対策	
3 学 期	1	18	総合演習	個別試験対策	
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) 数学的基礎知識が身に付いたかどうか、授業内容をしっかり把握しているか、また標準的な入試問題に対応できるかを評価の観点とする。 なお、評価については、定期考査・演習状況・提出物などから総合的に判断する。
-----	---

|

令和5年度 数学科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	数学Ⅲ	6 単位
対象	3 学年 必修選択者	
教科書	数学Ⅲ (数研出版)	
補助教材等	4Step 数学Ⅲ (数研出版)	

担当者	
-----	--

目標	極限, 微分法及び積分法についての理解を深め, 知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに, それらを積極的に活用する態度を育てる。
----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	78	微分法 微分法の応用 複素数平面 積分法	いろいろな関数の導関数 接線と法線 平均値の定理 関数のグラフ 速度と近似式	事柄の本質を理解し、数学的な見方・考え方の良さを認識することを主眼とする。そのために、教材の選択に留意する。
	5			複素数平面 ド・モアブルの定理	
	6			複素数と図形 不定積分と基本公式 置換積分法・部分積分法	
	7			いろいろな関数の不定積分 定積分の置換積分法	
2 学 期	9	78	式と曲線 積分法の応用 関数 総合演習	定積分の部分積分法 定積分の種々の問題 放物線 楕円 双曲線 曲線の媒介変数標示 極座標と極方程式 面積 体積 曲線の長さ 速度と道のり	学習事項を確実に身につけるためには、問題を自分で解くことが大切である。適切な問題を提示し、問題演習を徹底させる。
	10			分数関数 無理関数 逆関数と合成関数	
	11			総復習演習① 総復習演習② 総復習演習③	
	12			総復習演習④ 総復習演習⑤ 総復習演習⑥	
3 学 期	1	54		総復習演習④ 総復習演習⑤ 総復習演習⑥	学習事項を確実に身につけるためには、問題を自分で解くことが大切である。適切な問題を提示し、問題演習を徹底させる。
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 基本的事項が理解できているか、さらに応用して問題を解決することができるか、を評価する。 定期考査、課題提出、授業中の取り組み等を総合的に判断して評価する。
----	--

令和5年度

年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	化学	4 単位
対象	3学年 必修選択者／自由選択者	
教科書	改訂 化学（東京書籍）	
補助教材等	セミナー化学基礎+化学（第一学習社） チェック&演習化学（数研出版）	

担当者	
-----	--

目標	実験実習を重視し理系進学希望者に対して自然科学を学ぶ必要な基礎学力を身につけさせる。 大学入試問題に対応する実践的な演習により受験に必要な学力を備えさせる。
----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点（具体的な指導目標）
1 学 期	4	40	2. 化学平衡 3. 水溶液中の化学平衡 (1) 電離平衡 (2) 溶解平衡	化学平衡・平衡の移動 弱酸や弱塩基の水溶液 緩衝溶液 沈殿の生成	化学平衡の法則やルシャトリエの原理に基づいて論理的に理解する。
	5		4. 無機物質 (1) 非金属元素 (2) 金属元素	主な金属元素の単体とその重要な物質の工業的製法 遷移元素の特徴 金属イオンの分離と確認	無機化合物について系統的に物性を理解する。実験により興味・関心を喚起および理系進学希望者の素養を育む。
	6		5. 有機化合物 (1) 有機化合物の特徴と分類 (2) 脂肪族炭化水素	命名法・異性体 アルカン、アルケン、アルキン、シクロアルカン、シクロアルケン	有機化合物、高分子化合物、天然物化合物について、系統的に物性を理解する。
	7		2 学 期	(3) 酸素を含む脂肪族化合物 (4) 芳香族化合物 (5) 生活と有機化合物	アルコール、エーテル、カルボニル化合物、カルボン酸、エステル、油脂・芳香族炭化水素、フェノール他
10	6. 高分子化合物 (1) 高分子化合物の分類と特徴 (2) 合成高分子化合物 (3) 天然物高分子化合物 (4) 生活と高分子化合物	合成樹脂、合成繊維、ゴム、糖類、アミノ酸、タンパク質、核酸、食品、衣料等日常生活における高分子化合物の利用			
11	問題演習と実験	入試演習、センター試験対策、記述問題演習及び発展		入試対策、高校化学の総まとめによって、理系進学者	
12	3 学 期	問題演習		的内容を含む実験、探究学習	の素養を実践的に育む。
1		24			
2					
3					

評価	(観点・方法等) 定期考査の結果を中心に、小テスト、実験のレポート、その他平常点を総合的に判断して評価する。
----	---

令和5年度

年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	化学基礎 (化学基礎演習)	1 単位
対象	3 学年 自由選択者	
教科書	改訂化学基礎 (東京書籍)	
補助教材等	サイエンスビュー 化学総合資料 四訂版(実教出版) つかむ化学基礎(浜島書店)	

担当者	
-----	--

目標	化学基礎の復習・演習を通して、共通テストにそなえ実力を養成する。
----	----------------------------------

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	11	◆物質の成分と構成元素 ◆原子の構造と元素の周期表 ◆化学結合 ◆物質と化学反応式 ◆酸と塩基 ◆酸化還元反応 ◆化学と人間生活	・混合物、純物質、元素、単体、化合物 ・粒子の熱運動と状態変化 ・原子の構造と電子配置 ・イオンの生成と周期表 ・イオン結合、共有結合、金属結合 ・原子量・分子量・式量、物質質量 ・化学反応式と量的な関係 ・酸と塩基・pH・中和と塩 ・酸化と還元・酸化剤と還元剤 ・金属の酸化還元反応 ・生活の中の化学 ・物質の成分と構成元素	演習中心に解説し小テストを行う。周期表とイオン、電子配置、結合の形式を結びつけ解説する。 原子量の定義を確認し、物質質量、量的関係、濃度の換算の計算練習を実施。溶解度にもふれる。 pHの計算練習、中和反応の量的な関係の基礎から応用までおこなう。 酸化数から酸化還元滴定まで問題演習を行い。イオン化傾向の反応性を理解させる。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	12	◆物質の構成 ◆物質の変化 総復習、問題演習	・原子の構造と元素の周期表 ・化学結合 ・物質と化学反応式 ・酸と塩基・酸化還元反応 ・化学と人間生活 入試問題演習	一学期の学習を振り返り、より発展的な内容の演習を行う。 共通テストの実践練習を行う。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	6	総復習、問題演習		共通テストの実践練習を行う。
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 定期考査を中心に、小テスト点を加味して総合的に判断して評価する。
----	--

令和5年度

理科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	生物	6 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	改訂 生物 (東京書籍)	
補助教材等	スクエア最新図説生物 (第一学習社) ニューグローバル生物基礎・生物 (東京書籍) チェック&演習 生物 (教研出版)	

担 当 者	
-------------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関連付けることで生物や生物現象への関心を高め、観察・実験などを通して生物学的に探究する力を育てるとともに、生物学の考え方を養う。 進路の実現に向けて、発展的な生命現象を確実に身に着ける。
-----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	78	生命現象と物質	細胞と分子	<ul style="list-style-type: none"> 実験や実習、視聴覚教材等を通して、自ら探究する力、生物学的な考え方を学ぶ。 基礎的・発展的 (マーク式・記述式) 演習問題を随時行う。
	5			代謝	
	6			遺伝情報の発現	
	7		生殖と発生	有性生殖	
2 学 期	9	78	動物の発生 植物の発生	動物の発生 植物の発生	<ul style="list-style-type: none"> 実験や実習、視聴覚教材等を通して、自ら探究する力、生物学的な考え方を学ぶ。 基礎的・発展的 (マーク式・記述式) 演習問題を随時行う。 共通テスト対策の演習を行う。
	10			生物の環境応答	
			生物と環境	個体群と生物群集 生態系 生物の進化と系統 生物の系統	
			演習問題	演習問題	
	12				
3 学 期	1	54	演習問題	演習問題	<ul style="list-style-type: none"> 共通テスト終了後は、二次対策の演習問題を行う。
	2				
	3				

評 価	<p>(観点・方法等)</p> <p>生物に対して興味・関心をもち、意欲的に探究しようとしているか。種々の生物現象について、得られた知識を活用し、論理的に考察することができるか。顕微鏡などの実験器具を正しく使えるか。観察や考察した内容を、スケッチや文章などで適切に表現できるか。生物・生物学的概念や原理・原則を理解しているか。生物・生物現象の系統的な知識を身につけているか。(定期考査、実験、授業中の取り組み等を総合的に判断して評価する)</p>
-----	---

令和5年度 理科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	生物基礎	1 単位
対 象	3 学年 自由選択者	
教 科 書	改訂 生物基礎(東京書籍)	
補助教材等	ベストフィット生物基礎 (実教出版) スクエア(第一学習社)	

担 当 者	
-------------	--

目 標	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活と関連付けることで生物や生物現象への関心を高め、観察・実験などを通して生物学的に探究する力を育てるとともに、生物学の考え方を養う。 進路の実現に向けて、基本的な生命現象を確実に身に着ける。
-----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	13	生物の特徴 演習	生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題を通して、基本的な生命現象を確実に身につける。 進路の実現のために必要な知識・技能を身につける。
	5		遺伝子とその働き 演習	遺伝現象と遺伝子 遺伝情報の複製と分配	
	6		生物の体内循環 演習	体液とそのはたらき 生体防御 体内環境の維持のしくみ	
	7				
2 学 期	9		バイオームの多様性と分布 演習	生物の多様性とバイオーム	<ul style="list-style-type: none"> 演習問題を通して、基本的な生命現象を確実に身につける。 進路の実現のために必要な知識・技能を身につける。 共通テスト形式の演習問題を行う。
	10		生態系とその保全 演習	バイオームの形成過程 バイオームとその分布 生態系 生態系のバランスと保全 生態系の保全	
	11		総合演習問題		
	12				
3 学 期	1				
	2				
	3				

評 価	<p>(観点・方法等)</p> <p>生物に対して興味・関心をもち、意欲的に探求しようとしているか。種々の生物現象について、得られた知識を活用し、論理的に考察することができるか。生物・生物学的概念や原理・原則を理解しているか。生物・生物現象の系統的な知識を身につけているか。(定期考査、授業中の取り組み等を総合的に判断して評価する)</p>
-----	--

令和5年度

理科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	物理	6 単位
対象	3 学年 必修選択者	
教科書	改訂版 物理 (数研出版)	
補助教材等	セミナー 物理基礎+物理 (第一学習社) 良問の風 物理 (河合出版) 標準編 物理 理系問題 第3版 (駿台文庫)	

担当者	
-----	--

目標	物理基礎の学習を発展させ、自然科学の素養をさらに深め、科学の方法を会得し、より高い科学的自然観を育成する。
----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	78	力学	①円運動 ②慣性力 ③万有引力 ④単振動	物理基礎の内容を本質的に理解できているかを確認しながら物理現象をイメージし、さらに立式して問題解決に至るトレーニングを行う。
	5		熱力学	①気体分子の運動 ②気体の状態変化	具体的な現象からモデル化を通して、定量的なとらえ方ができるようになる。
	6		波動	①光	場の考え方を理解し、具体的な場面で応用できるようになる。
	7		電磁気	①電場 ②電流	
2 学 期	9	78	電磁気	③電流と磁場 ④電磁誘導	電気と磁気の関係について理解し、具体的な場面で応用できるようになる。
	10		原子	①波動性と粒子性 ②原子核	現代物理学の研究成果を学び、物理的なものの捉え方を学ぶ。
	11		物理総合演習	高校で学習する物理を各場面で応用できるようになる。	
	12		共通テスト演習		
3 学 期	1	54	課題研究	各自設定課題	自ら設定した課題を自分自身で解決できるようになる。
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 物理の考え方が理解できているかを、定期考査・小テスト等で評価する。
----	---

令和5年度 理科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	物理基礎	1 単位
対 象	3 学年	
教 科 書	改訂版 物理基礎 (数研出版)	
補助教材等	改訂版 大学入試センター試験対策 チェック&演習 物理基礎 (数研出版)	

担 当 者	
-------------	--

目 標	物理基礎の学習を確認し、大学入試センター試験で高得点を取ることを目指す。
--------	--------------------------------------

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	13	運動とエネルギー	運動の表し方 いろいろな力と力のつりあい 運動の法則 液体や気体から受ける力 仕事と力学的エネルギー	生徒が主体的に問題演習に取り組めるようになる。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	13	熱 波 電気 物理学と社会	熱とエネルギー 波の性質 音 物質と電気抵抗 交流と電磁波 エネルギーとその利用 総合演習	物理基礎を抜けなく総合的に理解し、応用できるようになる。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	9		総合演習	大学入試の本番で、実力を十分に出せるように準備する。
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) 授業内の課題等で評価する。
--------	---------------------------

令和5年度 保健体育科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	体育	2 単位
対象	3 学年	
教科書	現代保健体育 改訂版 (大修館書店)	
補助教材等	なし	

担当者	
-----	--

目標	種目選択を行い立案形式で自ら学習内容および目標を設定することで、主体的に運動に親しむとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	オリエンテーション 球技 体づくり運動 (新体力テスト)	授業の流れの説明・種目選択 クラス男女別に種目選択 (班長による立案) ・各自の役割を果たす ・練習、試合、スキルテスト ・個人カードによる振り返り	・健康、安全に留意し、各自が役割を果たし、協力して学習活動に取り組む。 ・事前の立案指導により目的を持った授業内容にする。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	26	球技 武道 ダンス 陸上競技	希望する種目を選択 (班長による立案) ・各自の役割を果たす ・練習、試合、スキルテスト ・個人カードによる振り返り	・健康、安全に留意し、各自が役割を果たし、協力して学習活動に取り組む。 ・事前の立案指導により目的を持った授業内容にする。 ・グループ内で役割を分担し、協力して授業に取り組む姿勢を養う。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	18	体育理論	豊かなスポーツライフの設計の仕方	・ライフスタイルやライフステージに応じたスポーツへのかわり方を理解させる。
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 健康・安全を確保して、活動することができたか。種目の特性を理解し、技能の向上および、課題発見・解決に向けて仲間と協力して活動することができたか。自己の役割を果たして活動できたか。その他、授業の出席状況や学習カード、スキルテストなどで総合的に評価する。
----	---

令和5年度 保健体育科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	体育	2 単位
対象	3 学年 必修選択者	
教科書	現代保健体育 改訂版 (大修館書店)	
補助教材等	なし	

担当者	
-----	--

目標	種目選択を行い立案形式で自ら学習内容および目標を設定することで、主体的に運動に親しむとともに、健康・安全を確保し、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。
----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	オリエンテーション	授業の流れや決まりごとなどを理解する。	・授業規律を理解させ、健康・安全に留意させる。
	5				
	6				
	7				
2 学 期	9	26	球技 ・ネット型 ・ゴール型 ・ベースボール型 水泳 陸上競技 武道 ダンス	運動の特性や練習方法、指導法の講義・実技を通して、技能と指導法を習得する。 種目の特性や個人的技能、集団的スキルを知り、習得するとともに、実践的な攻撃のパターンを習得する。	・集合の仕方、話を聞くときの注意点、板書などの工夫を見につけさせる。 ・自己の役割を果たし、個人及びチームとしての攻撃の仕方を知り、実践できるようにする。 ・自らが授業をデザインできるように、指導していく。
	10				
	11				
	12				
3 学 期	1	18			
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) 健康・安全を確保して、活動することができたか。種目の特性を理解し、技能の向上および、課題発見・解決に向けて仲間と協力して活動することができたか。自己の役割を果たして活動できたか。その他、授業の出席状況や学習カード、スキルテストなどで総合的に評価する。
----	---

令和5年度 芸術科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	音楽Ⅲ	2 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	Joy of Music	
補助教材等	音楽通論	

担 当 者	
-------------	--

目 標	音楽の諸活動を通じて音楽・芸術に関する素養を身に付け、豊かな感性と生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てる。また、感性を磨き、創造的で個性豊かな表現力・鑑賞力を高める。
-----	---

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)					
1 学 期	4	26	<ul style="list-style-type: none"> ・ガイダンス ・歌唱 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ガイダンス ・諸外国の歌曲 	<ul style="list-style-type: none"> ・発声の基礎を身につける 					
	5					<ul style="list-style-type: none"> ・ソルフェージュ ・楽典 ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴音 ・和音、音楽記号 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽技能の基礎を身につける 		
	6								<ul style="list-style-type: none"> ・新国立劇場でのオペラ鑑賞教室に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・オペラの成り立ちや舞台演出について理解し、作品を味わう。
	7									
2 学 期	9	26	<ul style="list-style-type: none"> ・ソルフェージュ ・楽典 ・鑑賞 	<ul style="list-style-type: none"> ・聴音 ・問題演習 ・オペラ、歌曲、オーケストラ、日本の伝統音楽 	<ul style="list-style-type: none"> ・発展的な音楽技能を身につける。 ・音楽大学進学に必要な知識を身につける ・世界的に有名な楽曲や演奏家の演奏に触れるとともに、楽曲を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを感じ取って聴き、言葉で説明するなどして、音楽のよさや美しさを味わう。 					
	10									
	11									
	12									
3 学 期	1	18	まとめ	・1年間のまとめ	・1年間の授業を振り返り、卒業後の生活と音楽について考える。					
	2									
	3									

評 価	(観点・方法等) 出席状況・授業への参加態度・各実技発表(試験)や筆記試験の結果・レポート・提出物の状況などから総合的に評価(学習に対する意欲や関心、積極性、表現力、技能、知識と理解力、思考力と判断力、活動の過程で進歩した点など)。実技発表あり。
-----	--

令和5年度 英語科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	コミュニケーション英語Ⅱ	2 単位
対 象	3 学年 必修選択者	
教 科 書	Element Ⅱ	
補助教材等	Cutting Edge Orange	

担 当 者	
-------------	--

目 標	最新の難解な大学受験長文問題を解く力をつける
--------	------------------------

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	Chapter 1 Chapter 2 Chapter 3 Chapter 4	化学 健康 物語 言語 化学・人体 環境 宇宙 時事・IT 動物	比較的難解な文章を、パラグラフに注目して論理的に読めるようにする。スピードも意識して読めるようにする。
	5		Chapter 5 Chapter 6 Chapter 7		
	6		Chapter 8 Chapter 9		
	7				
2 学 期	9	26	Chapter 10 Chapter 11 Chapter 12 Chapter 13 Chapter 14 Chapter 15 Chapter 16	時事・政治 時事・社会 AI・IT 時事・歴史 経済 IT・社会 社会・心理	比較的難解な文章を、パラグラフに注目して論理的に読めるようにする。スピードも意識して読めるようにする。
	10				
	11		入試問題演習	過去問等を使用した問題演習	
	12				
3 学 期	1	18	入試問題演習	過去問等を使用した問題演習	比較的難解な文章を、パラグラフに注目して論理的に読めるようにする。スピードも意識して読めるようにする。
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) 最新の入試長文問題 (500words~700words) をほぼ20分で読み、内容一致問題や記述問題を解ける力が付いたか否か、また教材に含まれている語彙、構文、文法事項などを理解し、知識を活用できるかどうかを定期テストや小テスト、及び授業中の確認で評価する。
--------	--

令和5年度 英語科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	コミュニケーション英語Ⅲ	3 単 位
対 象	3 学年	
教 科 書	ELEMENT English Communication Ⅲ	
補助教材等	Cutting Edge Blue	バックV

担 当 者	
-------------	--

目 標	言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能を習得させ、コミュニケーション能力の養成を図る。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	39	L 1	Lies, Damned Lies, and Statistics	・統計の嘘について理解し、それをどのように見抜くのか話し合う。
	5		L 3	Environment or Orangutans?	・ヤシ油がオランウータンの絶滅の原因になるかもしれないことを理解する。
			L 4	The Truth about Grit	・ニュートンが万有引力の概念を思いついた物語の真実を理解する。
			L 5	A Class from Stanford University	・授業でのチーム課題について理解し、自分だったら何をするか話し合う。
			L 6	The Mpemba Effect	・ムペンバが偶然発見した現象について理解する。
7	L 7	Invisible Gorilla	・「非注意性盲目」と「注意の錯覚」がなぜ起こるのか理解する。		
2 学 期	9	39	L 8	A Small Crime	・主人公の父親が主人公に言いたかったことを理解する。
	10		L 9	Praying Hands	・「祈りの手」を見たときに、筆者が読者に思い出してほしいことを理解する。
	11		L 1 0	All the Good Things	・物語の展開を理解し、読後に感じたことを書く。
	12		共通テスト対策問題演習	駿台文庫「バックV」	本番を意識して解く。
3 学 期	1	27	共通テスト対策問題演習	駿台文庫「バックV」	本番を意識して解く。
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) 定期考査、課題テストの結果や単語テストの結果に加え、提出物の提出状況等を鑑みて総合的に評価する。
-----	--

令和5年度 英語科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科 目	英語表現Ⅱ	2 単位
対 象	3 学年	
教 科 書	Vision Quest English Expression Ⅱ Ace	
補助教材等	Write to the Point, Grammar Collection, ファイナルステップ	

担 当 者	
-------------	--

目 標	積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度とコミュニケーション能力の育成に重点を置きながら、JETとのティームティーチングにより英作文、エッセイライティングなどの演習を行い、総合的な英語力を育てる。
-----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	Grammar Collection 13-20	<ul style="list-style-type: none"> 文法事項の定着 英作文の実践練習 エッセイライティング基礎力育成 	既習の文法事項を応用問題を通して定着させつつ、JETによる英作文指導を通して、実践的な表現力を養成する。
	5		Write to the Point 3-8		
	6		Vision Quest Part 2		
	7				
2 学 期	9	26	ファイナルステップ 1-14	<ul style="list-style-type: none"> 文法事項の定着 英作文の実践練習 エッセイライティング応用力育成 	既習の文法事項を応用問題を通して定着させつつ、JETによる英作文指導を通して、実践的な表現力を養成する。
	10		Write to the Point 9-18		
	11		Vision Quest Part 3		
	12				
3 学 期	1	18	<ul style="list-style-type: none"> 入試対策 	<ul style="list-style-type: none"> 大学入試過去問演習 	個々の目標に応じた様々な問題形式に取り組み、個別指導を通じて英語表現力をさらに高める。
	2				
	3				

評 価	(観点・方法等) 定期考査、課題提出、小テスト、平常授業での活動を判断し、総合的に評価する。
-----	---

令和5年度 情報科 年間授業計画

東京都立調布北高等学校

科目	情報の科学	2 単位
対象	3 学年	
教科書	新・情報の科学（日本文教出版）	
補助教材等	なし	

担当者	
-----	--

目標	(1) 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解する。 (2) 情報と情報技術を問題発見の解決に活用する科学的な考え方をもち。 (3) 情報社会の発展に主体的に寄与する能力と態度をもち。
----	--

学期	月	時数	単 元	指 導 内 容	留意点 (具体的な指導目標)
1 学 期	4	26	情報とコンピュータ	<ul style="list-style-type: none"> 三原色, カラー画像の数値化, 画像サイズや画像データのファイルサイズについて学ぶ。 情報量とビットについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的なコンピュータ操作を習得する。 コンピュータでの情報の表現を理解し活用する。
	5		ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークや構成機器, プロトコルについて学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレス等のインターネットの仕組みを理解する。
	6		アルゴリズムとプログラム	<ul style="list-style-type: none"> アルゴリズムの基本について学び, 順次・選択・繰り返しの構造の簡単なプログラムを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的なプログラムを作成する。
	7		モデル化とシミュレーション	<ul style="list-style-type: none"> 情報の収集と検索, データの分析, 解決案の評価や改善について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 表計算ソフトのデータベース機能を用いて, データの検索方法について学ぶ。
			データベース		
2 学 期	9	26	問題解決	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の方法と手順, 手法 (ブレーンストーミング, KJ法, コンセプトマップ) について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決の手法について体験的に学ぶ。
	10				
	11		情報社会の発展と知的財産	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産権(著作権, 産業財産権など)とその保護について学ぶ。 肖像権やパブリシティ権, 引用について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 知的財産を守る技術と目的を理解する。
	12		情報システム	<ul style="list-style-type: none"> ネットショッピングなどのサービスの活用, 利用する上での課題について学ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近なところで利用されている情報システムについて学ぶ。
3 学 期	1	18	セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> サイバー犯罪, 匿名性の悪用, 情報漏洩を学び, 情報セキュリティの重要性について考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティを高める方法について理解する。
	2				
	3				

評価	(観点・方法等) ・ 授業への取り組み・提出物(実習課題)などを総合して評価する。
----	--